

いよいよ熊本も梅雨入りしそうですね。雨の日の来院は大変です。玄関先でお電話いただくとスタッフがお手伝いに参りますので遠慮なく声をかけてください！
皮膚トラブルが増える季節。虫刺され軟膏も処方できます。

院長 池澤滋

感染症情報 4/18~5/22	前回	今回
アデノウイルス	1	0
溶連菌感染症	0	3
感染性胃腸炎	97	174
水痘(水ぼうそう)	0	5
手足口病	0	0
RSウイルス	1	0
突発性発疹	16	14
りんご病	1	0
EBウイルス	0	0
ヒトメタニューモ	0	0
インフルエンザA	0	0
インフルエンザB	0	0
おたふく風邪	0	1

6月 住所：合志市野々島 2461 (ユーパレス弁天 北側)
TEL：096-242-6633
診療時間：9：00～/14：00～18：00
休診日：木曜・土曜午後・日曜祝
URL：http://www.ikezawaorg/



実話
「アゲキーンアゲキーン！」
コロナでうち時間が増え、グリーンにはまっています！
珍しい植物の育て方が分からず独り言を言ったらゴロゴロしていた娘が急に勉強を始めました笑

作・絵 ちえこ&きみこ

『母の、母の日』



3人の子ども達が皆家を出て、夫婦2人になって早4年。途端に静かになった家の中で話すことといえば子どもの話。好物が食卓に出ると「食べさせてあげたいね」とか「これ好きだったよね、送ってあげようか」とか。ゴミは分別して出しているか？とか、排水溝は掃除しているのか？とか。家を出る練習が不十分なまま3人を社会へ出してしまった、と反省していたが、今はなんでもググればネットから情報が取れ、私の知識を超えていたりする。料理だってほとんど教えなかったのにYouTubeで料理の動画を見ていたりして子どもからレシピを習うことだってあるほど。時代は変わった。23歳の末娘は久留米にいる為、ちょこちょこ帰って来てくれる。母の日に花束をもらった。3人の子ども達はLINEで打ち合わせて末娘が代表で渡しているに違いない。私の母は62歳で亡くなった。これから親孝行しようという時だった。私は母にいくつカーネーションを渡せたのだろう。出来ることはもっとあったはずだった。それはどんなに時間が経過しても未だに後悔として胸を刺す。この通信を、読むあなたのお母さんはいくつだろう。もしかして私より年下かも？いや年下の人が多いかもしれない。自分の子どもが生まれた時、初めての子育てに翻弄していた。病気の母のことを気遣っているつもりでも子どものことを優先していた。

残りの時間がわかっていたら、あと、何日生きられるとカウントできたならもっと優しくできただろうか。26年前に母が亡くなって以来、「母の日」は私の中ですっかり消失していたが、今年はふと母の妹、80歳の叔母の顔が浮かんだ。母と幼い頃の記憶を分けあった妹。何も無い、戦後の大変な時代を生き抜いた尊い命が残っている。「おばちゃん、ママがいないからママの代わりにもらってね」送ったメッセージカードは叔母が読みやすいように大きく書いたひらがなだらけ。まるで小学生のようだ。子どものいない80歳の叔母は、荷物が母の日に届いたと喜んで電話をくれた。「今日はLINEを習ってきたわー何回も同じこと聞くけど教えてなーって店員さんに頼んできたわー」と笑う。さっそく叔母とのLINEが始まった。もしも今、母が生きていたらスマホを持って私とLINEをしていたかもしれない。いつか叔母が文字を上手に打てるようになったら母の幼い頃の思い出を聞いてみよう。どんなことをして遊んだか、どんなお姉ちゃんだったのか・・・叔母の遥か遠い記憶に光が差すとき私の中で母が蘇る気がする。どんなに元気でもいつか終わる日がくる。今日1日を慈しみ、大切な人との関わりを忘れず過ごしていきたい。



文責：池澤千恵子

